

アリーナ整備・運営に関するサウンディング公募型市場調査
の対話結果の公表について

アリーナ整備・運営に関するサウンディング公募型市場調査を実施しましたので、その概要を公表いたします。

1 サウンディング実施の目的

本市では、建設地の判断の他、アリーナの規模、採用する事業手法、公募条件等を検討するため、東静岡北口市有地（東静岡第17街区）を対象とした民間事業者の主導によるアリーナの整備・運営について、関連する民間事業者等へのヒアリングを行ってきましたが、様々な民間事業者に対して、幅広く参考となる意見を聴取するために実施したものです。

2 サウンディングの実施スケジュール

- | | |
|----------------|------------------------|
| (1) 実施要領の公表 | 令和2年11月16日（月） |
| (2) 参加申込期限 | 令和2年11月27日（金） |
| (3) 実施日時・場所の連絡 | 令和2年11月30日（月）～12月2日（水） |
| (4) 実施時期 | 令和2年12月3日（木）～12月18日（金） |
| (5) 提案書の提出期限 | サウンディング実施日の前日まで（提出任意） |
| (6) 実施結果概要の公表 | 令和3年3月30日（火） |

3 参加団体

- | | |
|-------------|---|
| (1) 参加団体数 | 20グループの事業者等との対話を実施しました。 |
| (2) 参加事業者業種 | ゼネコン、リース、商社、建設、設計、運営、維持管理、金融、スポーツ団体、その他 |

4 サウンディング結果（サウンディング項目）の概要

ヒアリング項目	主な意見等
ポテンシャル等	① 東京、名古屋からのアクセス性や駅至近という立地を高く評価する意見 ② アリーナ整備に十分な広さという意見がある一方、施設が大きい場合、付帯施設の併設は困難との意見も有 ③ 大規模イベントの誘致を中心に目指していくべきとの意見や、一方、中規模イベントをメインに高稼働を目指していくべきとの意見も有 ④ コンテンツ次第で東京・名古屋等、広域での集客が可能との意見 ⑤ 周辺環境影響への対策の必要性を指摘する意見 ⑥ プロチームのホームアリーナもしくは国際大会基準を施設要件とする場合、イベント開催・運営上サブアリーナが必要になるとの意見

事業スキーム・事業条件等	<ul style="list-style-type: none"> ① 民間主導による整備・運営という事業スキームを評価する意見 ② 観るアリーナというコンセプトに賛同する意見 ③ WEB 環境や新型コロナウイルス感染症への対応、興行主が利用しやすい設備・設計の必要性を指摘する意見 ④ 整備費も含めた完全な独立採算は困難との意見 ⑤ 施設規模については、5,000 席規模～10,000 席規模を想定する中、特に 5,000 席規模～8,000 席規模を想定する事業者が多数 ⑥ 観客用駐車場はキャパシティや渋滞への影響から敷地外設置が現実的との意見
事業への興味・関心等	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業に関する興味を持つ事業者が多数 ② 官民でのリスク分担や、参入時にアリーナ事業にどれだけコロナ禍の影響が残っているかが重要との意見 ③ 市の係わりがどうなるのかの想定が必要との意見
市に要望する事項等	<ul style="list-style-type: none"> ① 運営時の官民でのリスクシェアや、イニシャルコストに関する支援を求める意見 ② 防災やソフト的な公共への貢献事業に対する支援を求める意見 ③ 市民全体の盛り上がりの醸成を要望する意見
新型コロナウイルスの影響等	<ul style="list-style-type: none"> ① コロナ禍の収束後、イベント需要の急回復を想定する意見 ② オンライン視聴の一般化と、リアルでライブを見る価値が向上する意見 ③ ゆとりある座席や、多様な観戦スタイルへの変化を想定する意見 ④ 当面の間、ソーシャルディスタンスが継続を想定する意見

5 サウンディング結果（提案）の概要

- (1) 提案団体数 7グループの事業者等から提案を受け付けました。
- (2) 提案の概要
 - ① スポーツを核としたまちづくりの提案
 - ② 民間資金・ノウハウを活用した PPP 事業の提案
 - ③ まちづくりの取組等から目指すべきアリーナについて事業費・事業手法も含めた提案
 - ④ 候補地におけるアリーナ規模・平面図・配置等に関する提案
 - ⑤ 駐車場の考え方に関する提案

- 6 今後の予定 誘致予定地決定に向け、いただいたご意見を参考に検討を行います。